

別紙様式1

令和5年度学校評価表

(中間・最終)

学校名 三原市立第三中学校

校番(3)

a 学校教育目標		仲間とともに輝け三中 ～果敢に挑戦する生徒の育成～		b 経営理念 ミッション・ビジョン		【ミッション】(自校の使命) 社会のために役立とうとする志を抱く生徒の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 社会や世界の状況に対応し、よりよい社会を創るために挑戦する生徒が育つ学校										
評価計画						自己評価					改善方策		学校関係者評価			
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10 月	2 月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価			m コメント	
						h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ		
確かな学力	○資質能力ベースの学びが展開され、生きて働く力が育まれる。 ○豊かな表現力と協同性が育まれる。	○学力調査において、単年度で全国平均比較で3ポイント向上させる。 ○批評的思考力や相手意識を持った表現力(パブリックスピーキング)を向上させる。	○学習者基点の能動的で深い学びにつながる校内授業研究の充実 ○第三中学校区学力向上に資する小中連携及び、結果にコミットできる授業改善 ○第三中「授業づくり徹底5項目+パブリックスピーキング」を全ての授業で実施 ○基礎学力を培う学力向上学習(GK)、個別最適な学習及び家庭学習の充実とともに、知識を活用する場を設定 ○情報端末機器を活用した個別最適な学びの推進	・学力調査における年間全国比の伸び率	3P	3P	-	100%	A	・全国学力学習状況調査において、全国平均は下回っているが、昨年度比3P改善した。記述問題の無回答率も前年度より1.9P改善した。 ・全体、教科毎、学年毎の授業研究会は計画通り実施し、目標値を上回っている。指導案作成、事前事後協議を通じて、授業改善に取り組んでいる。 ・推進委員会は実施することができなかったが、今後は、授業交流や出前授業を計画している。	・GKタイム等を活用した、知識・技能の定着と結果を授業改善に生かす。 ・記述式(思考・判断・表現)問題における無答率減少の取組を継続する。 ・深い学びに迫る授業研究を継続して取り組んでいく。 ・研究会や出前授業での授業交流等を通して、児童生徒の学力課題を共有し、授業改善を図る。	○			・補習授業を行って、生徒ができた喜びを実感し、生徒のやる気を出させていることが良いと思いました。 ・授業交流週間の取組が、生徒の学習意欲向上につながる授業改善となるよう、今後も実施して下さい。 ・生徒がICT機器を様々な場面で活用できる授業や部活動、学校行事を継続して下さい。 ・第三中学校区学力向上プロジェクト推進委員会に係わる小中連携が計画通りに実施できなかったことについて改善をお願いします。	
				・授業交流週間の実施 ・教育研究推進に係る校内研修実施 ・第三中学校区学力向上プロジェクト推進委員会の実施	3回 6回 3回	2回 11回 0回	3回 16回 0回	100% 267% 0%	A A D							
				生徒アンケート ①「授業がよくわかる」 の質問に対する肯定的評価 ②「Chromebookを使った学習はよくわかる」	80% 80%	81% 85%	83% 88%	104% 110%	A A							
				③家庭学習の肯定的な意識や意欲の向上	80%	93%	92%	115%	A							
豊かな心・健やかな体	○積極的な生徒指導の充実～ピア・サポートによる親和性の高い集団づくり～ ◎小中連携の推進により、全職員が生徒指導を含む全ての教育課程で義務教育を見通せるようになり、結果、不登校生徒が減少する。	○全生徒が粘り強く、助け合うことができるようになる。 ○忍耐力(レジリエンス)の向上を図り、問題行動を減少させる。 ○不登校生徒を前年度と比較し、2/3以下とする。	○自主的・自立的な生徒会活動の推進 ・生徒が主体となる「三中チャレンジカップ」の実施 ・「学校生活のきまり」を改善する等、主権者教育の促進 ・縦割り集団によるピア・サポート活動の充実 ・自己肯定感が育まれる肯定的な評価 ○三中スタンダードの徹底及び質の	・生徒アンケートにおいて「学校が楽しい」「友達と話し合い、考えを広めていける」	90% 85%	93% 82%	92% 82%	103% 96%	A B	・学校行事や学校生活において、縦割り集団による活動を進めることで異年齢交流を行い、ピア・サポート活動の充実に努めた。 ・昨年度から引き続き、「学校生活のきまり」を見直すため、生徒会長から生徒参加の協議を行うことを説明した。今後も協議を継続する。 ・三中スタンダードの徹底が図れるように、毎月の身なり点検を行い、決まりの確認や三中スタンダードについて啓発を行った。 ・生徒が主体的に参加できるボランティアの機会を増やし、自治的な生徒会活動が実施できた。	・生徒が自ら立案できる「三中チャレンジカップ」を企画させる。 ・取組に目的や意義を持たせることで、成果を肯定的に評価する。 ・三中スタンダードの徹底を図るため、生徒会や生徒専門委員会からの啓発活動を計画、実施していく。 ・生徒会執行部の新旧交代時に、活動の理念や方針を共有し、継続発展させる。 ・生徒会を中心としたボランティア活動参加への呼びかけを継続する。	○			・「友達と話し合い、考えを広めていける」と思える生徒の数値が高いことが何よりです。 ・新生徒会の今後の活動に期待します。生徒の想いや願いが実行できるような指導をお願いします。 ・生徒達が落ち着いて学習していました。先生方の指導が活かされていると思います。 ・学校の決まりに関する協議が計画通り実施できなかったことについて、改善をお願いします。 ・ボランティア活動に積極的に参加できる環境づくりを進めてください。	
			・不登校生徒数の減少 完全不登校30日以上の不登校数	0人 30人	2人 33人	1人 48人	- 63%	D B								
			・不登校生徒支援会議の開催	各週	各週	各週	100%	A								
信頼される学校・働き方改革	◎働き方改革が推進され、学校教育力が向上する。 ○通いたい・通わせたいと感じさせる学校を創る。	○行事の精選と学校組織力を向上させ教職員が生徒に向き合う時間を向上させる。 ○普通学級編制を各学年4学級編制とした、様々な縦割りの学校教育を実施する。	○価値ある学校行事の実施と定時退校日の完全実施 ○機能するカリキュラムマネジメントにより効果的な校務運営	・学校行事の規模縮小	3項目	2項目	3項目	100%	A	・コロナ対応緩和の5月以降、運動会、学習発表会、卒業式の実施内容について再検討を行い、プログラムや式次第の精選を行った。 ・超過勤務60時間以内を目標に掲げ、定時退校の呼びかけを積極的に行うとともに、超過勤務の状況を職員で共有し業務の分担等の見直しを行った。	・生徒にとって活動の意義が実感でき、意欲が高まる行事の精選を図る。 ・働き方改革推進に向けて、計画的に業務を進められるよう、実施した行事の直後に成果と課題を明確にし、次の行事に反映させる。 ・主任主事を中心とした業務分担の推進を継続する。	○			・校区内小学校との連携を実施され、スタンダードの共通理解による中学校での指導を行うことで、落ち着いた学校の雰囲気がつくられていると思います。 ・働き方改革の推進、教職員の超過勤務時間の削減について、今後も継続して取り組んでください。 ・コロナ明けで年間を通して実施された各行事内容の見直しを、次年度に繋がるようにしてください。 ・今後も、生徒たちが充実感や達成感を実感できる学校行事の推進をお願いします。3年生がリーダーとなって活躍できる伝統を再構築して下さい。 ・個人情報に配慮した、学校だより等の定期的な情報発信を継続して下さい。	
			・超過勤務月60時間以内	70%	83%	75%	107%	A								
			・主体的な学びに迫る校内研修	6回	3回	3回	100%	A								
			・たより等による広報	24回	12回	22回	100%	A								
			○小中連携を通した、小学生及び保護者、小学校教職員に信頼される学校づくり ○環境整備を推進し、美しい学校づくり ○生徒の自治的な活動の活性化 ○行事の充実 ・第3学年生徒をリーダーとした全ての生徒が輝く行事の実施 ○便りやHPを活用した学校教育の発信	・ホームページの更新	月2回	月2回	月2回	100%	A							

【j: 自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

【l: 学校関係者評価 評価】
イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: 分からない。